

『初めて足にボトックスを打ち』

25歳の時、脳（くも膜下）出血で倒れ、三度の手術・・・生死をさまようも生かされた。・・・当初、歩けるかどうか五分五分であると言われていた中、左片麻痺の後遺症は残ったが、杖歩行できるまでに回復した。

様々なご縁の中、今でも通信病院に二カ月に一度、外来診察で通っている。

そんな2017年春、竹川先生と出逢い、足にボトックスを打つことに。以前、腕に打ったことはあったが、足に打つのは初めてだった。

僕の左足は、筋緊張が強く装具を着けていない時の足首は伸び切り、カカトは浮き気味だ。爪先立ちしている状態になり装具は必須だ。人差し指の屈曲もひどく、靴の中で指が曲がりタコができていた足には、シリコン状の指サックをしなければ、痛くて歩くことができなかった。

また、僕の歩き方は、その筋緊張を利用した歩調だったため、ボトックスを打つことにより歩き方が変わってしまうのではないかと、若干のためらいもあった。

ボトックスの効果は直後から現れた。まず足が軽くなったと感じ、歩くと足が出しやすくなった。左膝（麻痺足）を意識して歩けた。カカト地面に着く感触もあった。また、親指が自分の意思でピクピクと上向きに動かせたり、装具もはきやすくなった。

人差し指の屈曲も緩み、指サックをしなくても歩くこともできた。（しかし、外して外出を繰り返すと指に負担がかかることがわかり、やはり指サックはした方が良かった。）

心配していた歩調には、大きな変化はなかったが、杖歩行をしていない自宅内で度々あった転倒が以降一度もなくなった。

病気で倒れてから、約12年。今まで感じたことのない嬉しい反応の数々だった。

接種後1カ月頃から、部位によっては筋緊張が現れはじめてきた部分もあるが、ボトックスの効果によって担当のPTと共にリハビリへ前向きな気持ちで取り組むことができていることが、ありがたく感じている。

2017年8月